

相手や目的を明確にして、キャッチコピーを考えよう

今年は郷土の著名な芸術家である池上秀敏の生誕150年にあたることから伊那市内でもさまざまな取り組みが行われています。子どもたちも地域で話題になっている池上秀敏のことを知り、誇りに思うようになりました。そこで、池上秀敏や彼の作品を収録したデジタルブックを活用してパンフレットやポスターを創ることにしました。読む人が、実際に見たり、聞いたり、読んだりしたくなるように、工夫してパンフレットやポスターを作ります。



①今年、伊那市内外で催された池上秀敏の展覧会のポスターを見比べます。それぞれのポスターは見てほしい人に向けて作られています。自分が見る側になったのと同じように感じるかを考えます。



②それぞれのポスターを見た子どもたちは自分がポスターを作る時にどのような点に注意すると良いものになるかを考えながら「フリーボード」を使ってそれぞれのポスターに付箋をはっていました。



③共同作業をしていたフリーボードのコピーを作り友だちの考えを取り入れながら自分がポスターを作るときに注意したいことを左側に整理していきます。



④ポスターを作るにあたり「キャッチコピー」の工夫に注目する子どもがいました。そこで、NHK for Schoolの「言葉が人をひきつける」（お伝と伝じろう）を視聴し、見る人に訴える効果的な表現の仕方について考えました。



⑤池上秀敏を知ってもらうための「キャッチコピー」を考えます。伝える相手のことを意識しながらたくさんの案を書き出し、schoolTaktで共有し、友だちの考えも取り入れながら、自分の案をより良いものに磨き上げていきます。



⑥ポスターづくりにはCanvaを使います。デザイナーの講師の方を招いてアプリの使い方やデザインづくりのコツを教えてくださいました。教えていただいたことをもとに紙面をデザインしていきます。

富県小学校 6年 依田裕巳 先生の授業と（株）ヒトコトデザイン 代表取締役の小澤純一 氏の出前講座をもとに推進センターで編集させていただきました

地域の素材をまとめたデジタルブックを活用しましょう

伊那市がiPadを導入し始めた2014年には「地域素材をデジタルブックにする」取り組みが盛んに行われていました。Appleのブックストアの中には教材となるブックを見ることができます。

本年が池上秀敏生誕150年にあたるということで伊那市内外で展覧会が行われました。信州高速美術館には秀敏の描いたスケッチがたくさん収蔵されています。

このスケッチの一部をデジタル化し小中学校の授業の中で扱っていただけたらありがたいとの願いから、信州高速美術館と推進センターが協力してデジタルブックとしてまとめる取り組みを行っています。

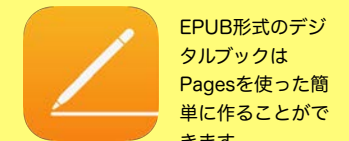
このデジタルブックは小中学生のiPadに簡単にダウンロードできます。このブックをきっかけとしてさまざまな学びが生まれることを期待しています。中学校の美術や小学校の図工だけでなく、国語などでも扱っていただいています。作品も募集していますので、ぜひたくさんご応募いただきたいと思います。詳しいことは教育委員会ICT教育推進係またはセンターまでお問い合わせください。



十五歳で東京にいき修行を始めた秀敏が十七歳の時に描いたスケッチを収録した「十七歳のスケッチブック」は3巻のシリーズになっています。



伊那小学校に寄贈されている秀敏のスケッチ画をまとめた「しゅうほからのおくりもの」は子どもたちの大好きな昆虫のスケッチが精密に描かれており、目を奪われます。



EPUB形式のデジタルブックはPagesを使った簡単に作ることができます。

卒業文集をPagesで書いている今、動画も入れた、「デジタル卒業文集」の出版も可能です。

地域の素材をまとめたデジタルブック



【小学校3年 社会】江戸時代に井水を開発した伊東伝兵衛の物語がまとめられています。地域学習にうってつけのブックです。（ICT活用教材DBの中の02小学校DBからダウンロードすることができます。）



【総合的な学習の時間】地域学習で出会ったお年寄りから教えていただいた郷土の歌の歌詞「飼うや蚕の二百余戸」に興味を持った子どもたちが1年間にわたって取り組んだ実践のまとめ。（ダウンロードについては推進センターにご相談ください。先生方はブックストアからダウンロード可能です。）



【小学校6年生・中学校1年生 理科】東部中学校の体育館横の地層に含まれる御嶽山の火山灰をテーマに学習を進めていく内容です。（ダウンロードについては推進センターにご相談ください。先生方はブックストアからダウンロード可能です。）